

扶助ニ使用シテ福利事業ノ眼目タル事業空費ハ總ニ管理主義ニ等シク福利ノ
目ヲ疎開シツ、アリ
從來トテモ組合員會費ハ其ノ中幾百分ノ一ヲ服度トシテ退職遺族特産ノ三條付
ニ加ヘラレ、ニ止メテ新制身六條ノ交付金ノ増額ニ對スル應答ヲ活用シテ以テ
右三給付會計ノ基礎ヲ計ルベキガ爲メ然ラザルニシテ、然ルニ給付至漸ニ前述
ノ如キ不念理アルヲ遺憾トスコレ三給付ノ電氣局ニ移管シ現文給額ヲ電氣局員
担トス可キ事ヲ主張スル理由ナリ

第六 英厄給付(傷病見舞金階次見舞金家族慰念金事故保証金)ハ相互扶助ノ目的ヲ以テ
組合ニテ行フ

第三 特別組合員
一 特別組合員ノ制度ヲ廢止シ之ニ對スル給付ヲ減算ス

第四 會費
一 組合會費ハ給料ノ百分ノ一トス

第五 交付金
一 從來ノ電氣局交付金ハ廢止ス

第六 補助金及融通金
一 支消組合ノ福利及附帶事業ニ對シテ別ニ定ムル所ニ依リ電氣局ヨリ補助金ノ交付
或ハ資金ノ融通ヲ受ク

第二章 福利及附帶事業

一 貯金貸付金 日用品供給事業
一 組合員ノ最上ニシテ組合員ノ自主的管理ヲ主張スル所ナルカ担割ヨリ課ルニ當テ者タル組合員ハ
總ニ交通事業勞働者ニシテ早朝ヨリ深夜ニ至ルマデノ不眠時或ハ通勤時或ハ課ルニ當テ者タル組合員ハ
レ食事時間モ一定ヒ久自定ヨリ稍多ヲ持テ或ハ飲食店ヨリ米ムルコト亦不可
能ナリ 課カモ最多致シタル乘務從業員ニハ食事時間、供給ナク來務結合也
中ノ多忙ナル時中ニ食事ヲ果リザルニ得テ不爲ニ組合員ノ便益ヲ無視シテ專用ノ
ケルガ如ク打撃ヲ以テスレバカ、ハ狀態ニテ組合員ノ累加ヲ生シテ租品ヲ高
價ニシテ供給スル事ニ至ル組合員タル者勿論ニ如上ノ如キ特殊条件ヲ課シ給金供
給事業空費ノ困難ヲ生致シツ、アルハ事業主タル電氣局ニシテ事業電氣局ハ從
業員ノ勤務ニ支障ナキ様相當ナル食費、給與ニ全責任ヲ負フベキナリ

第七 慰安會
一 慰安會ハ共済組合ニ於テ執行シ組合員會費ハ電氣局ヨリ補助金トシテ支給ス
從來ノ受託形式ヲ廢ス

第八 從來食事供給事業ニ関シテハ供給品ノ租惠トガ當ニ被供給者ヲ組合員ノ不保
理由

ヲ概キ居リタリ此ノ原因トシテハ至當方法ノ官檢的杜断ト高級職員ノ人件費ノ
過大率該担当者ノ細細弛緩不立等ヲ列挙シ得ルガ故ニ之ガ徹底的修正ヲ必要ト
シ組合員ノ自主的管理ヲ主張スル所ナルカ担割ヨリ課ルニ當テ者タル組合員ハ
總ニ交通事業勞働者ニシテ早朝ヨリ深夜ニ至ルマデノ不眠時或ハ通勤時或ハ課ルニ當テ者タル組合員ハ
レ食事時間モ一定ヒ久自定ヨリ稍多ヲ持テ或ハ飲食店ヨリ米ムルコト亦不可
能ナリ 課カモ最多致シタル乘務從業員ニハ食事時間、供給ナク來務結合也
中ノ多忙ナル時中ニ食事ヲ果リザルニ得テ不爲ニ組合員ノ便益ヲ無視シテ專用ノ
ケルガ如ク打撃ヲ以テスレバカ、ハ狀態ニテ組合員ノ累加ヲ生シテ租品ヲ高
價ニシテ供給スル事ニ至ル組合員タル者勿論ニ如上ノ如キ特殊条件ヲ課シ給金供
給事業空費ノ困難ヲ生致シツ、アルハ事業主タル電氣局ニシテ事業電氣局ハ從
業員ノ勤務ニ支障ナキ様相當ナル食費、給與ニ全責任ヲ負フベキナリ

第三章 財産及資金

第一 福利事業資金
一 從來事業資金ハ組合空費ヨリ流用シ来リタリモノナルヲ以テ一般給付ノ電氣局
ニ移管スルト共ニ毎年度三十万圓以内ヲ資金トシテ電氣局ヨリ融通ヲ受ク

第二 福利義務及財産
一 退職遺族特産ニ関スル福利義務ハ電氣局ニシテ継承ス 亦之ニ相當スル財産上ノ
持分ニ関シテハ別ニ其ノ処置ヲ定ム

第三 基金財産
將來共済組合ハ其ノ空費途上ニ於テ基金財産ノ積立ヲ行フ方針ヲ執リ補助金ヲ